

放送大学通信

on air

オン・エア

no. 64

発行日 平成13年12月10日

発行 放送大学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地 043-276-5111(代)

CONTENTS

座談会 大学院の各プログラムについて	
副学長 渡邊守章 教授 杉本大一郎	
教授 阿部 齊 教授 岩永雅也 教授 橘 玲子	1
山形県において「放送大学フェア」開催	6
平成14年度大学院単位認定試験について	7
平成14年度開設改訂科目一覧	8
平成14年度開設改訂科目紹介	
現代社会と著作権(02) 専修大学教授 斉藤 博	
内閣法制局参事官 作花文雄	
文部科学省研究振興局情報課長 吉田大輔	10
韓国語I(02)、韓国語II(02) 東京大学助教授 生越直樹	
東京大学非常勤講師 根本理恵	10
簿記入門(02) 助教授 齋藤正章	11
ドイツの言語文化(02) 一橋大学教授 久保哲司	11
研究室だより	
微生物の世界を観る 愛知学習センター所長 田中健治	12
世界最強のゼミ 助教授 高橋和夫	12
学習センターの整備	13
- 岡山学習センター -	
伝統の「赤煉瓦」からモダンな「ハートフルビル」へ	13
- 徳島学習センター -	
徳大工学部内へ移って新たな出発	13
教務のお知らせ	14
平成14年度第1学期学生募集	16

大学院の各プログラムについて

<座談会>

総合文化プログラム文化情報科学群・コーディネーター 渡邊 守章
 総合文化プログラム環境システム科学群・コーディネーター 杉本大一郎
 政策経営プログラム・コーディネーター 阿部 齊
 教育開発プログラム・コーディネーター 岩永 雅也
 臨床心理プログラム・コーディネーター 橘 玲子

阿部(司会) 平成14年4月から、放送大学大学院への学生受け入れが始まり、今いろいろな準備が進んでいます。この放送大学の大学院には4つのプログラムと2つの群がありますので、5つのプログラムと準プログラムという形で構成されているわけですが、今日はそれぞれのプログラムのコーディネーターの先生方にお集まりいただきまして、大学院のことをいろいろお話していただきたいと思っております。

まずそれぞれのプログラムの特徴を一言ずつお聞かせいただければと思います。最初に「総合文化プログラム文化情報科学群」のコーディネーターでいらっしゃいます渡邊副学長からお願いいたします。
 渡邊 「総合文化プログラム」は、プログラム自体が非常に、大きなグループなので「文化情報科学群」と「環境システム科学群」の2つの群に分けたわけです。「環境システム科学群」はどちらかとい

えば理系の感じがしますが、しかし「文化情報科学群」のほうにも総合情報学というのがありますし、あるいは阿部先生の国際社会研究のような国際関係のものもありますので、単に人文科学だけではない、横断型であるということです。

「文化情報科学群」は、「文化」と「情報」がキーコンセプトです。その際、文化を広く人間の営為の総体としてとらえて、それが情報とどう切り結ぶ



渡邊守章副学長



か。情報はもちろんツールだけではなくてコンテンツですが、そのツールとコンテンツの生成・受容・変容に焦点を当てる。さらに詳しく言えば、問題の系として、情報そのものの問題群がありますし、あるいは人間について、あるいは芸術をはじめとする表象という問題群もある。地域文化研究のように地域という空間的な軸でとらえるものもあります。地域文化研究は、単に地域研究というと、歴史軸を捨象したものが主要な方向でしたが、ここでは時間軸、時間の記憶というものをはっきりさせようとする。それから地域間の比較あるいは対照というようなことで比較文化論、あるいは日本もある種相対化して見ようということで日本文化研究。そして文化人類学という第2次大戦後に隆盛を見たジャンルがあり、また国際社会で国際社会相互の関係も見ると、というふうに工学系のものも入った総合情報学から社会科学まで入っているということです。

杉本先生の「環境システム科学群」もそうですが、「総合文化プログラム」というのは大学院の全体の設計図の内部で一種の理論的なフレームワークを提供しようとする。理論的なフレームワークというのは、別の言い方をすると問題形成の思考ということで、どういう問題を立てていったらいいのかと。つまり問題を解くためには問題を立てなければいけないわけで、その問題の立て方が間違っていると話にならない。文化と情報が多重的に関わる場で、時代の基底の選択は何なのか。こうした問題形成を学生さんと一緒に考えていく。理論的フレームワークといっても、対象は具体的な現象ですから、ただ机に向かって考えているだけではだめなので、さまざまな対象領域に従って調査した研究素材なり対象なりを分析し、理論を引き出ししていく。その意味で、思考の深化と研究の手つきを身につけてもらう。これが「総合文化プログラム」の基本的な目標です。横断的であるということ、横断的に問題を立てることを身につける、立てた問題を解決し、それを1つの理論的なモデルに組み上げていく。そういう意味でいうと、放送大学の学部が拠って立っている、吉川前学長が仰っていたような形での「21世紀の新しい総合的な教養学」の大学院レベルにおける1つの重要なトポスを構成すると言っておいてよいのではないかと考えています。

阿部 ありがとうございます。次に「総合文化プログラム環境システム科学群」のコーディネーター

でいらっしゃいます杉本先生、お願いいたします。杉本 渡邊先生が、色分けをすると「環境システム科学群」は理科系だと言われましたが、そのとおりです。我々が現実の世界で起こっている事柄を理解しようとするときに、人間の関係や社会の他の他に、自然現象として動かし難い事柄が起こっています。そういうところをきちんと科学的に押さえた上でやっていかないと、全体としては砂上の楼閣になります。例えば環境問題の典型として地球温暖化の話がありますが、温暖化はどういうメカニズムで起こるのか。二酸化炭素の量が増えるとどうとか言うけれど、どういう過程でそうなるのか、自分で本当にわかっていないと物事ができないわけです。そこで、自然科学的なことをバックボーンにして、そこから広げていくのが「環境システム科学群」です。

そこでは「環境」と「システム」がキーワードになっています。いろんな要素があって、それらが作用し合っている総体をシステムというわけですが、その振舞はシステムがどのような状況、境界条件とありますが、のもとにあるかということによって左右されます。システムが置かれている広い意味での環境によるわけです。そこでの全体の論理や機能と、それらの決まり方を、きちんと押さえて、そのリテラシーの上に立って現実の世界を見たり、それに関わったりしていこうというのが「環境システム科学群」です。それはこれまでのディシプリンとどのように違うのでしょうか。理科系というと物理、化学、生物、数学とか個々の分野に分けて呼ばれてきました。しかし、現実には起こっている問題には、そのどれか一つの専門だけでは、理解したり解決したりすることができないものがたくさんあります。こうして個々の専門を超えて、現実の世界を科学的にとらえていくリテラシーが育つのを助けていこうということです。

阿部 「政策経営プログラム」は私がコーディネーターですので、私からお話したいと思います。

経営と言いますとビジネススクールというのが日本でも最近増えてまいりましたし、アメリカなどでも非常に多くの学生さんを引きつけています。ビジネススクールの場合はあくまでも私的な企業の経営を中心に上げるわけですが、私どもはそれよりもむしろ公的なセクターといいますが、政府や、必ずしも営利を目的として活動しているわけではない団体、例えばNPOとかNGOとかのような、むしろ

杉本大一郎教授



公的な領域で活動していると言ってよい団体、そういうものを含めてマネジメントを考えてみたいと思っています。それを強調する意味で「政策経営プログラム」と呼ぶことにしました。政策というのはこの場合パブリックな、公的な領域にかかわる分野というふうにお考えいただければよろしいと思います。したがって研究分野には、経営学的な分野もありますし、地方自治論といいますが行政学的な分野もありますし、それからそういうものを勉強していく上で基礎になる法律学的な分野もあります。

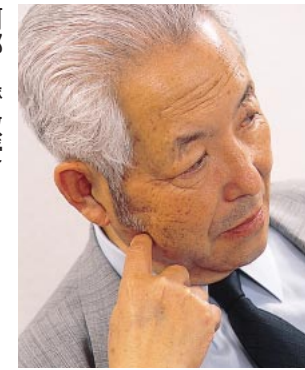
ただ、これは他のプログラムにもいえることだと思うのですが、1つの分野で修得単位の要件を満たそうとするとそうたくさん科目が用意されているわけではない。例えば政策経営には地方自治体の職員の方がたくさん来られると思うのですが、地方自治に関する授業はせいぜい2つか3つしかありませんから、やはりそれ以外のところを積極的に勉強していただかないといけません。そういう意味では例えば経営学もやっていただきますし、それからアートマネジメントという、マネジメントでもやや特殊な分野もありますし、環境問題についての環境マネジメントといったものもあります。そういうものを広くとっていただく。地方自治だけわかればいいというのではなくて、いろんな形のマネジメントを身につけていただく。特に公的・私的を含めた、あるいは交差するような領域のマネジメントといったことを広く身につけていただきたい、というのが「政策経営プログラム」の狙いといいますが目標ということになります。

それでは「教育開発プログラム」のコーディネーターの岩永先生、お願いします。

岩永 「教育開発プログラム」の主な目的は、一人の人間が生まれて、自我を形成しつつ、パーソナリティを獲得して、さまざまな社会的な知識や技術を身につけながら社会に出ていき、やがて成熟していくというプロセスを、人間という存在から見ていくことです。これは伝統的な学問分野の区分けからすると教育学、心理学、それから保健体育学ということになるのですが、この「教育開発プログラム」は、あえて従来型の分野区分にはこだわらず、学問体系から現実を見ていくというのではなく、現実の事象あるいは問題から学問体系のほうに入っていくというような方向性を持たせてあります。

ところで、これまでの大学院、特に教育関係の伝

阿部 齊教授



統的な大学院にはおおむね2つの類型があったと思います。1つは、学問研究として教育学、心理学、保健体育学を学んだ人たちが、それをさらに学問的に深めていくための大学院、つまり学術的な大学院と呼ぶことができる大学院です。もう1つは、実践的活動を行う人が、より技能を高め、知識を深めるためのいわば実践型の大学院です。この2つはどちらも教育学系の大学院といわれているのですが、目的も教育方法も全然違っていました。実は、我々の「教育開発プログラム」はある意味で前者に近く、ある意味で後者に近いという二面性を持っています。

どういう意味で前者に近いかということ、提供する学問内容が、教育技術や教科教育などの実践的分野とはあまり重なりを持たず、むしろ教育とか心理とか保健体育とかいうものの本質的な意味は何か、あるいは社会とのかかわりはどこにあるのかということなどを深く考えていくようなコースが組まれている点です。一方、後者に近いというのは、我々がこのプログラムを、実際に教育に携わり、教育のことを考え、そして教育にかかわっている人たちにこそ受けてほしいと考えている点です。従来は、ややもすると、教育の実践家には技術的な教育学、心理学、保健体育学というふうに一方向的に決められていたのですが、そうではなくて、そういう方たちだからこそ、混迷した現在の状況を考えると、より十分に理論なり教育に対する考え方というものを深めていただくために、学術的なものの考え方や探究の仕方を学ぶことが必要ではないかということです。そういう意味で、「教育開発プログラム」は、これまで我が国ではほとんど見ることがなかったような実践と科学、あるいは実践と理論との新たな出会いの場になるのではないかと考えております。

阿部 最後になりましたが、「臨床心理プログラム」のコーディネーターの橘先生にお話を伺いたいと思います。臨床心理プログラムは他と若干違ったところがあるということですが、その辺も含めてお話しください。

橘 心理臨床活動は基本的に悩みを持っている人にお会いして援助活動を行います。仕事の領域をあげると、精神科などの医療領域、児童を中心とする福祉相談業務や学校教育臨床領域（児童相談所や教育相談センターなども含む）、司法領域などが中心となります。心理療法や心理アセスメントが中心と



岩永雅也教授



橘玲子教授

なりますが、最近スクールカウンセラー、被害者や児童虐待など地域の人たちや近接領域とのネットワークを組んですることが増えています。心理臨床活動は子どもや夫婦間の悩み、職場での対人関係、などなど日常的な出来事を聴きながら一緒に考えていくことです。人に出会うところから仕事が始まるわけです。

ですから実際的で具体的で実践的でなければなりません。しかし、身の上相談のような具体的な指示は出来るだけしないわけです。とにかく話を聴くという態度です。

臨床心理学やカウンセリングには最近多くの方々が関心を示しています。その中には自分に興味があるという方と人に役立ちたいと願う方がいるように思います。どちらも大切なことです。しかし、この想いを仕事に活かすというのは、ただ興味を持つということだけではすまないことになります。たとえばカウンセリングをすることは必ずしも全部良いこととは限りません。危険性もあります。薬がプラスとマイナス両方の動きがあるのと似ています。人間の心理について興味があるのでしたら、心理学だけではなく、芸術や文学や演劇などからもたくさん学ぶことができます。

仕事をするということは責任が伴うことです。善意や興味だけではないことをこのプログラムでは伝えるために、講義だけではなく演習や実習がとても大切になるわけです。実習や演習は全生しか受けられませんが、ここに入られた方は職業人を目指しているからと言えます。知的な学習は大切ですが、同時に職業人として実践的であることを目指します。目の前にいる方の心の動きに添いながら、実際にやりとりする力を付けることです。職人とか芸術家に共通するところがあるかもしれません。

阿部 大学院の科目といっても共通の電波を使って流すわけですから、当然学部の学生さんも大学院の授業を見る機会はありましょし、それから将来大学院に入りたいと考えている学部の学生さんも少なからずおられると思うのです。大学院用に放送されている番組、あるいは印刷教材も含めて大学院の教材というものを、学部の学生さんはどういふふうにご利用すると良いと思われませんか。

杉本 大学院の科目は難しいというのは1つの側面であって、放送大学のコースでは、それを補う面も考えているつもりです。大学院も科目生なら18歳か

ら入学できます。逆にすでに社会に出て、活躍している方々もおられます。こうして、学生さんのバックグラウンドなり、それまでの経験や知識もさまざまです。普通の大学なら大体同じようなことを習って大学院にきているわけですから、そこはずいぶん違う。そこで、放送大学はどうするかという大問題があるわけです。それに対して私が思いますのは、「高校生には易しくて大学院生には難しく」というカリキュラムが1つの答えです。そんなことできるものかと言われるかもしれませんが、例えていうと、ある絵画を見て、それをどう理解しようか、その絵画を見る人とその絵画との関係で決まるわけですから、それにはいろんな理解の仕方がある。そこで話のほうも、大体の筋道は高校生にもわかるが、その根拠となっている事柄まできちんと理解しようと思うと大学院生向きになる。そのような作品は可能です。

それから、大学院だと話が内容的に細かくなると思う人があるかもしれませんが、逆に大学院生は広く見渡す能力があるので、広く諸関係についてまで話を広げることができます。その広がっている内容を、単に一言だけ言えば通じるというのは、例えば数理言語を使って言ったり、数式で表現したりすると、可能になる場合はしばしばあります。修士課程も後半になると、数式を具体的に書いて見せなくても数式で表現するとどうなるかまでわかって、話が通じるというところでしょう。このことは、定量科学の場合には、特に重要です。それに対し、経験の浅い方は、まずは放送を視聴してください。

放送でどんな話かが大体わかったところで、印刷教材を読むほうが効率的です。難しいことをある程度とばして、全体を把握する能力は重要です。実際、日常会話ではそのようにしているのではないのでしょうか。

阿部 橘先生の「臨床心理プログラム」でもいろんな科目があるわけですが、学部の学生さんの利用の仕方というのは何かお考えになっていますか。

橘 「臨床心理プログラム」は大学院だからという限定はありません。プログラムの構成は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会の資格試験が受けられるように作られています。現段階では、資格試験を受けられる大学院にはなっていないのですが、申請を行うことができるカリキュラムに整えているところです。この点が他のプログラムと大きく違って

るところです。しかし、それぞれの科目は臨床心理活動に関わる基本的なものを目指して作られていますので、すでに何らかの臨床心理的活動(対人関係を援助する領域)に関わっている方々が聴いたら経験と理論的なことの照合ができると思います。また大学院には、臨床心理学とは全く異なる領域で勉強をしてこられる方々が多いと予想されます。そういう方は「臨床心理プログラム」での基本を学ば



けではなく、学部や他のプログラムの中から臨床心理学と深い関連のある講義を聴いて勉強をして欲しいと思います。この点、放送大学は他分野の講義が準備されていて、それぞれ関心のあるところを深めることができるといいと思います。

阿部 実際に大学院に入ってくる学生さんの中には、修士論文を書いて修士の学位をとろうという全科の学生さんと、ある科目だけをとる修士科目生とがあるわけですが、この修士科目生が本学で大学院の科目をとることの意味とありますが、あるいはどういう視点で修士科目生として勉強していったらいいか、何かアドバイスなどございますか。

岩永 「教育開発プログラム」は、これも特別で、専修免許という上位の教員免許が、必ずしも修士の学位をとらなくてもとれるという事情があります。特に平成15年度認定分までは移行措置がありますので、経験を換算できるということで、修士科目生

で6単位、9単位というふうにとることによって専修免許を各都道府県に申請できるというメリットがありますから、実質的に修士科目生になる意味が非常に大きいのではないのでしょうか。詳細は「大学院案内」を見ていただきたいと思います。

杉本 理科の先生についても同じです。

阿部 それは必ずしも「教育開発プログラム」だけではなく、個々のプログラムでもそういった形で利用できる科目があるわけですね。

岩永 そうです。杉本 修士科目生にはいろんなつもりで入ってこられると思います。ある専門的なことをすでにやっている人が、新しいことを知りたいとか新しい考え方を知りたいというようなこと。もう1つは、そういう事柄はまだほとんど勉強したことがないので、どんなものか覗いてみたいというような人。それぞれに応じて、いろんな利用の仕方があるのではない

でしょうか。渡邊 大学院レベルでの知見が要求されるような研修というのを、もう少し社会の側で、ということは会社でも公共機関でも、組織をしてくれれば、放送大学大学院はずいぶん使い道があるでしょうね。もちろん自分自身の楽しみのためというか自分自身のためにとるといってもいいですし、それから単位互換の話はまだはっきりとは言えませんが、ほかの大学院では必ずしも出していない科目もありますから。

杉本 それに、修士科目生になって単位をとり、それを基に全科生として入学するという手もありますしね。

阿部 それはありますね。では、本日はどうもありがとうございました。



山形県において「放送大学フェア」開催

放送大学は、生涯学習への参加推進を目的とした文部科学省等主催の「全国生涯学習フェスティバル」に今年も出展し、大いにその存在をアピールしました。平成元年度から各県持ち回りでスタートしたこのフェスティバルは、今年の「全国生涯学習フェスティバルまなびピア山形2001」で第13回目を迎え、10月11日(木)から10月15日(月)までの5日間山形県で開催されました。山形市を含む6市に会場を設け、講演会・シンポジウム等の多彩な催しが展開され、生涯学習見本市の会場となった山形国際交流プラザ(山形ビッグウィング)に出展した「放送大学フェア」には多くの方々が来場し、他の生涯学習機関とは違った大学らしさを感じていただけたようです。

今回のフェスティバルには、秋篠宮殿下・同妃殿下がご視察にお見えになりました。両殿下は、初めに放送大学ブースにお立ち寄りになり、井上理事長がお出迎えをし、和やかな雰囲気の中、予定を超えて説明をお受けになりました。

1階展示会場では、「放送大学紹介コーナー」としてCSを利用した全国放送や授業科目、学習システムなどの放送大学の長をパネルや大学紹介ビデオの放送などでわかりやすく紹介しました。多くの方から学習システムなどについて質問・相談が寄せられました。全科履修生の目指す学位記の見本もここに展示されました。「附属図書館特別展示」では、「西洋に伝わった日本」と題して、日本を最初に西洋に伝えた『東方見聞録』をはじめとして、西洋が日本のことを書いた主要な図書と地図を展示しました。普段見ることが出来ない『イエズス会日本年報』、ケンペル『日本誌』や、彩色の美しいシーボルト『日本植物誌』、そして、16世紀以降に西洋で書かれた日本地図の変遷が分かる展示は注目を集めました。展示物の一部から作成した絵はがき・しおりは来場記念として配布され好評を博しました。

また、放送大学ならではの企画として、前年度に大好評だった「ミニスタジオ」を開設。

これは、ビデオカメラによる撮影など製作現場を再現。特殊技術(クロマキー)で背景を合成、あたかも別の空間にいるような映像を映し出し記念写真をプレゼント、列が絶えないほどの大人気でした。



ちりめん本「日本おとぎ話集」より

さらに今年度は、2階交流サロンにおいて「放送大学体験入学コーナー」を設置し、実際の放送授業を見たり聞いたりして来場者の方に授業に参加していただきました。放送大学ホームページ閲覧コーナーや山形学習センターのご案内、ビデオライブラリーなど多彩な企画に訪れた方々は、放送大学をさらに体感していただけたようです。またCS放送だけでなく『模擬面接授業』として本物と変わらない授業を体験していただくことと遠藤賢太郎(山形大学名誉教授)元木幸一(放送大学客員教授)の両先生に教鞭を執っていただきました。こちらも大好評で会場からあふれるほど、大勢の来場者があり、慌てて席を用意するほどでした。

「附属図書館コレクション展」では「『ちりめん本』と古写真」と題して、明治中期から日本の昔話を多色刷木版で西洋に紹介した「ちりめん本」と主に明治期に撮影された古写真を展示し、訪れた人の目を楽しませていました。

今回は1階、2階と関係者は大忙しでしたが、会期5日間を通じて放送大学フェアに多くの方々が訪れてくださって、大盛況のうちに幕を閉じました。

なお、次回の第14回全国生涯学習フェスティバルは、石川県金沢市を中心に平成14年10月10日(木)~14日(月)まで開催される予定です。



「MAPS OF JAPAN」より



シーボルト「日本植物誌」より

平成14年度大学院単位認定試験について

平成14年度の大学院単位認定試験は以下のとおり実施します。

- 試験期間 平成14年度第1学期 平成14年8月2日(金)~平成14年8月3日(土)
平成14年度第2学期 平成15年1月31日(金)~平成15年2月1日(土)
- 試験時間 1日8時限とし、1時限50分で1科目を受験
1時限目 9:15~10:05
2時限目 10:25~11:15
3時限目 11:35~12:25
(昼休み50分)
4時限目 13:15~14:05
5時限目 14:25~15:15
6時限目 15:35~16:25
7時限目 16:45~17:35
8時限目 17:55~18:45
- 再試験について
学部と同様に、単位認定試験が不合格となった場合又は受験できなかった場合は、学籍が継続していれば翌学期に限り科目登録を行わなくても、再試験を受験することができます。

平成14年度大学院単位認定試験時間割

	(第1学期)		(第2学期)	
	平成14年8月2日(金)	平成14年8月3日(土)	平成15年1月31日(金)	平成15年2月1日(土)
1 9:15 10:05	総合情報学(02) 情報システム科学(02) 芸術文化政策(02) 生涯学習論(02)	地域文化研究(02) 健康科学(02) 都市計画論(02) 学校臨床心理学(02)	1 9:15 10:05	数理システム科学(02) 芸術文化政策(02) 現代身体教育論(02) 地域文化研究(02) 生活科学(02) 環境マネジメント(02) 発達心理学(02)
2 10:25 11:15	総合人間学(02) 複雑システム科学(02) 福祉政策(02) 情報教育論(02)	日本文化研究(02) 経営システム(02) 教育文化論(02) 社会心理学特論(02)	2 10:25 11:15	国際社会研究(02) 地方自治政策(02) 教授・学習過程論(02) 地域文化研究(02) 生活科学(02) 技術社会関係論(02) 心理学研究法特論(02)
3 11:35 12:25	言語文化研究(02) 地球環境科学(02) 福祉政策(02) 才能教育論(02)	比較文化研究(02) 経営システム(02) 教育経営論(02) 家族心理学特論(02)	3 11:35 12:25	国際社会研究(02) 地方自治政策(02) 認知過程研究(02) 情報化社会研究(02) 生命環境科学(02) 法システム(02) 臨床心理面接特論(02)
4 13:15 14:05	言語文化研究(02) 物質環境科学(02) 法システム(02) 逸脱行動論(02)	文化人類学研究(02) 経済政策(02) 法システム論(02) 精神医学(02)	4 13:15 14:05	国際関係論(02) 経済政策(02) 教育課程編成論(02) 認知行動科学(02) 表象文化研究(02) 生命環境科学(02) 法システム(02) 臨床心理学特論(02)
5 14:25 15:15	表象文化研究(02) 生命環境科学(02) 法システム(02) 臨床心理学特論(02)	国際関係論(02) 経済政策(02) 教育課程編成論(02) 認知行動科学(02)	5 14:25 15:15	文化人類学研究(02) 経済政策(02) 学校システム論(02) 精神医学(02) 言語文化研究(02) 物質環境科学(02) 法システム(02) 逸脱行動論(02)
6 15:35 16:25	情報化社会研究(02) 生命環境科学(02) 法システム(02) 臨床心理面接特論(02)	国際社会研究(02) 地方自治政策(02) 認知過程研究(02)	6 15:35 16:25	比較文化研究(02) 経営システム(02) 福祉政策(02) 家族心理学特論(02) 言語文化研究(02) 地球環境科学(02) 福祉政策(02) 才能教育論(02)
7 16:45 17:35	地域文化研究(02) 生活科学(02) 技術社会関係論(02) 心理学研究法特論(02)	国際社会研究(02) 地方自治政策(02) 教授・学習過程論(02)	7 16:45 17:35	日本文化研究(02) 経営システム(02) 教育文化論(02) 社会心理学特論(02) 総合人間学(02) 複雑システム科学(02) 教育文化論(02) 情報教育論(02)
8 17:55 18:45	地域文化研究(02) 生活科学(02) 環境マネジメント(02) 発達心理学(02)	数理システム科学(02) 芸術文化政策(02) 現代身体教育論(02)	8 17:55 18:45	地域文化研究(02) 健康科学(02) 環境マネジメント(02) 学校臨床心理学(02) 総合情報学(02) 情報システム科学(02) 都市計画論(02) 芸術文化政策(02) 生涯学習論(02)

平成14年度開設改訂科目一覧

区分	科目名	単位数	メディア	主任講師	現職等	再履修の可否	改訂前の科目	
共通科目	人文系	心理学初歩(02)	2	TV	辻敬一郎 星 薫	中京大学教授 放送大学助教授	可	心理学入門
		国語学概論(02)	2	R	白藤禮幸 杉浦克己	帝京大学教授 放送大学助教授	否	国語学概論(98)
	社会系	比較技術の文明論(02)	2	R	森谷正規	放送大学教授	可	日本の技術と産業の発展
		現代社会と著作権(02)	2	TV	斉藤 博 作花文雄 吉田大輔	専修大学教授 内閣法制局参事官 文部科学省研究振興局情報課長		(新規)
		アーツ・マネジメント(02)	2	TV	川崎賢一 佐々木雅幸 河島伸子	駒澤大学教授 立命館大学教授 同志社大学助教授		(新規)
	自然系	初等微積分学(02)	2	TV	熊原啓作	放送大学教授	否	微積分入門 (98)
		物質の世界 化学入門(02)	2	TV	平川暁子 濱田嘉昭	放送大学教授 放送大学助教授	可	基礎化学(98)
		実験科学の方法(02)	2	TV	濱田嘉昭 菊山宗弘	放送大学助教授 新潟大学教授	可	科学実験法
	外国語	英語 (02)	2	TV	霜崎 實	慶應義塾大学教授	否	英語 (97)
		ドイツ語 (02)	2	TV	新田春夫	武蔵大学教授	否	ドイツ語 (98)
		ドイツ語 (02)	2	R	新田春夫	武蔵大学教授	可	ドイツ語 (97)
		ドイツ語 (02)	2	R	幸田 薫	東京大学教授	可	ドイツ語IV(98)
		フランス語 (02)	2	TV	鈴木啓二 増田一夫	東京大学教授 東京大学教授	否	フランス語
		フランス語 (02)	2	R	鈴木啓二 増田一夫	東京大学教授 東京大学教授	可	フランス語
		フランス語 (02)	2	R	三浦信孝	中央大学教授	可	フランス語 (98)
韓国語 (02)		2	TV	生越直樹 根本理恵	東京大学助教授 東京大学非常勤講師		(新規)	
韓国語 (02)		2	R	生越直樹 根本理恵	東京大学助教授 東京大学非常勤講師		(新規)	
日本語 (02) 外国語としての		2	TV	姫野昌子 吉岡英幸 伊東祐郎	放送大学教授 早稲田大学教授 東京外国語大学助教授		(新規)	
専門科目	住計画論(02)	2	TV	本間博文 初見 学	放送大学教授 東京理科大学教授	可	住まい学入門(98)	
	衣生活の科学(02)	2	R	酒井豊子 牛腸ヒロミ	放送大学教授 聖徳栄養短期大学教授	可	衣・食・住の科学	
	脳の健康科学(02)	2	TV	小川紀雄 仙波純一	岡山大学教授 放送大学教授	可	脳と生体統御(98)	
	社会福祉の国際比較(02)	2	TV	松村祥子	放送大学教授	否	世界の社会福祉	
	変動する社会と暮らし(02)	2	R	本間博文 今井悦子	放送大学教授 放送大学助教授	可	高齢社会の生活設計	
	公的扶助(02) 生存権のセーフティネット	2	R	杉村 宏	法政大学教授	否	現代の貧困と公的扶助(98)	

区分	科目名	単位数	メディア	主任講師	現職等	再履修の可否	改訂前の科目	
専門科目	発達と教育	発達障害児の心と行動(02)	2	TV	太田昌孝	東京学芸大学教授		(新規 第2学期開始)
		障害児教育指導法(02)	2	TV	太田俊己 宮崎英恵 中坪晃一	千葉大学教授 東京都立青島養護学校長 植草学園短期大学教授		(新規 第2学期開始)
		障害児教育論(02)	2	R	大南英明 緒方明子	帝京大学教授 明治学院大学助教授		(新規 第2学期開始)
		乳幼児心理学(02)	2	TV	内田伸子	お茶の水女子大学大学院教授	否	乳幼児心理学
		生涯発達心理学(02)	2	TV	小嶋秀夫 山田洋子	京都学園大学教授 京都大学教授	可	発達心理学(98)
		老年期の心理と病理(02)	2	R	竹中星郎 星 薫	元大正大学教授 放送大学助教授	否	老年期の心理と病理(98)
		生涯学習と自己実現(02)	2	R	麻生 誠 堀 薫夫	放送大学副学長 大阪教育大学助教授	可	生涯発達と生涯学習
	社会と経済	紛争と民法(02)	2	TV	淡路剛久	立教大学教授	否	民法(98)
		市民生活と行政法(02)	2	R	芝池義一	京都大学教授	否	行政の法システム入門(98)
		国際関係法(02)	2	R	横田洋三	中央大学教授	否	法からみる国際関係(98)
		コミュニティ論(02)	2	TV	倉沢 進	放送大学教授	否	コミュニティ論(98)
	産業と技術	技術の分析と創造(02)	2	TV	赤木昭夫 槌屋治紀	放送大学教授 (株)システム技術研究所所長	可	生産の設備化と経営(98)
		簿記入門(02)	2	R	齋藤正章	放送大学助教授	可	税務会計(98)
		アグリビジネス(02)	2	R	稲本志良 河合明宣	京都大学教授 放送大学助教授	可	農業経営
	人間の探究	自己を見つめる(02)	2	R	渡邊二郎	放送大学教授	可	人生の哲学(98)
東南アジアの歴史(02)		2	R	桜井由躬雄	東京大学教授	可	イスラーム世界史	
芸術の理論と歴史(02)		2	TV	青山昌文	放送大学助教授	可	芸術の古典と現代	
現代における伝統演劇(02)		2	TV	渡邊守章 渡辺 保	放送大学副学長 淑徳大学教授	可	演劇を読む	
自然と文化の記号論(02)		2	TV	池上嘉彦	昭和女子大学教授		(新規)	
ドイツの言語文化(02)		2	R	久保哲司	一橋大学教授		(新規)	
フランスの言語文化(02)		2	R	田村 毅 月村辰雄	東京大学教授 東京大学教授		(新規)	
自然の理解	中国の言語文化(02)	2	R	丸尾常喜 蜂屋邦夫	大東文化大学教授 大東文化大学教授		(新規)	
	物質の科学・有機高分子(02)	2	TV	西 敏夫 讚井浩平 平川暁子	東京大学教授 上智大学副学長 放送大学教授	可	物質の科学・有機化合物(98)	

(注) 1.「メディア」欄のTVはテレビ、Rはラジオです。
 2.「現職等」は、平成13年10月現在のものです。
 3.「改訂前の科目」のほか、次の科目は平成13年度限りで閉講となります。国際関係論、経営学入門(98)、病気の成立と仕組み、世界の教育(98)、心理学史(98)、ドイツ語(98)、フランス語(98)、中国語(98)、現代アメリカの政治、比較文明の社会学、日本政治史、不動産学の基礎、イギリス文学(98)、清少納言と紫式部(98)、世界の民族(98)、生命と物質、天体物理学入門、固体地球、教育的人間学(98)、経済社会の現代(98)、対称性の数学(98)、洗濯と洗剤の科学(98)、エネルギーと熱(98)

平成14年度開設改訂科目紹介

現代社会と著作権 ('02)

日常生活で著作物に接しない日はないでしょう。朝起きて読む新聞には社説や特派員報告、随想など、多くの著作物が掲載されていますし、新聞そのものも、別途、編集著作物となります。テレビ放送にも、音楽や映像など、多くの著作物が利用されています。この放送大学の講義も著作物です。自分で絵を描く、曲を作る、レポートや論文を書く、コンピュータ・プログラムやゲーム・ソフトを開発する、データベースを構築するというように、著作物を自らで作ることもありましょう。著作物とは思想又は感情を創作的に表現したもので、上手とか下手とか玄人によるものが素人によるかばいしません。

印刷術、放送、録音・録画の技術、衛星、CD、DVD、半導体メモリーやインターネットなど、時代を画する技術が著作物の利用形態を変え、それに応じて著作権法制もその内容を変えてきました。そこでは、実演家、レコード製作

者、放送事業者、有線放送事業者も、著作物の伝達に大きな役割を果たしています。

そのようなことで、この講義においては、著作物や実演等の保護と利用に注目しながら、現代社会

専修大学 教授 齊藤 博
内閣法制局参事官 作花 文雄
文部科学省研究振興局情報課長 吉田 大輔

における著作権法制のあらましを学びます。そこでは、「著作物」や「著作者」という、著作権法制上の基本的な概念を正確に学び、新旧の課題を考え、著作権法制の未来像にも迫りたいと思います。



左から、吉田情報課長、齊藤教授、作花参事官

韓国語 I ('02)、韓国語 II ('02)

東京大学 助教授 生越 直樹
東京大学 非常勤講師 根本 理恵

毎年多くの日本人が韓国を訪れ、韓国を取り上げたテレビ番組や雑誌もよく見かけます。それだけ韓国が身近になったということでしょう。同様に、日本に来る韓国人も非常に多く、韓国には様々な形で日本の情報・文化が入っています。両国の間では、人や物、さらに情報が活発に往来しているのです。しかし、韓国で日本語を

勉強している人が非常に多いのに対し、韓国語を勉強している日本人はまだ少数です。これから韓国と幅広い交流を行うために、もっと日本でも韓国語を勉強する人が増えてほしいものです。

授業では、まず発音・文字(ハングル)の練習を行い、次に基本的な表現を使って簡単な文章を作る練習を行っていきます。最終的に

は簡単な表現を使って韓国の人とコミュニケーションができること、そして新聞記事なども読めることが目標です。さらに、スキットなどを通して韓国の文化・習慣についても紹介していく予定です。

韓国語は発音・文字が少し難しいかもしれませんが、文法は日本語と非常によく似ており、語順が

同じで助詞や敬語もあります。日本語を母語とする者にとってはわかりやすく、皆さんの抱えている外国語文法のイメージとはかなり違うでしょう。語彙も日本語と共通の漢語が多くあり、それほど苦勞せずたくさんの語彙を覚えることができます。

我々にとっても学びやすい言語ですので、この機会にチャレンジしてみてください。



生越助教授



根本講師

簿記入門 ('02)

簿記という用語は、もともと「帳簿記入」の略語であるといわれています。しかし、単なる帳簿への記入ではなく、「(経済価値の変動を)一定のルールに基づいて記録・計算し、集計する技術」のことを指します。簿記学習の目的はこの一定のルールを習得することにあります。技術ですから、頭で覚えるだけでなく、実際に手を動かして体で覚えることが大切になります。そう言うと何やら難しいことをするようですが、簿記の原理はいたってシンプルです。簿記学習とは言い換えれば、複雑化する経営活動をシンプルなルールで解きほぐす思考のトレーニングであるともいえるでしょう。

ところで、簿記や会計といえますと、自営業を営んでいる人や経理に携わっている人といった特定の人たちには関係ない学問分野であると考えている人が少なくありません。本当にそうでしょうか。企業、学校、病院、官庁、家計といった経済主体はすべからず経営活動を行っています。こうした経済主体の財政状態や経営成績を明らかにする手続きが簿記です。経営内容の説明責任(アカウンタビリティ)に対する社会的要請の増大につれて、簿記の重要性もますます高まっているといえるでしょう。

ということで、本科目は「産業と技術」の専門科目ではありますが、他専攻の学生の受講を大いに歓迎

放送大学 助教授 齋藤 正章

いたします。



ドイツの言語文化 ('02)

この科目では、ドイツ語で書かれた様々な文章を読み、ドイツ語圏の人々のものの考え方や感じ方、例えば自然観・歴史観・人生観・恋愛観などについて考察していきたいと思います。毎回ひとつのテーマのもとに、一人の著者の文章をひとつ、あるいはいくつか読みます。内容は担当者の専門の関係で、そして特別な予備知識なしに理解できるものを選ぶ必要から、文学作品が中心になりましたが、哲学・思想などの分野からも多少素材を採っています。

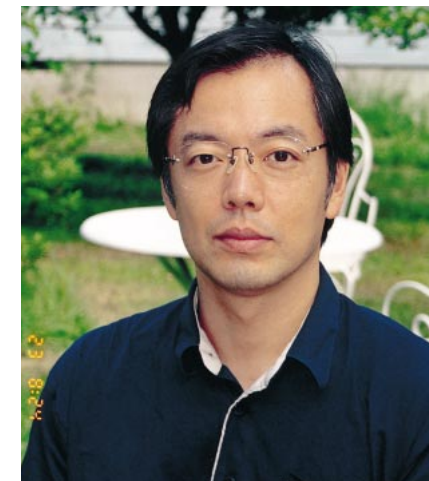
限られた時間で、毎回テーマを変えらるとなると、小説や論文をまるまる一篇読むわけにはいきません。抜粋ばかりではやや物足りないので、抒情詩を多く取り上げる

ことにしました。また、有名な詩には、曲がつけられていることが多いので、放送では折に触れてそうした曲を聴いてみたいと思います。言葉と音楽とは、いうまでもなく深い関係にありますし、ドイツ語圏の文化といえば、皆さんご存知のように、音楽が重要な位置をしめています。バッハやモーツァルトやベートーヴェンやシューベルトの作品から、ドイツ語に興味を持った方も多いのではないのでしょうか。

とかくとっつきにくいというイメージがもたれがちなドイツの文学や思想ですが、そこには私たちが世界や人生について考える上で参考になるものが無限に豊かに含まれていると私は思います。この

一橋大学 教授 久保 哲司

講義を通じて、受講者の皆さんが同じ考えを抱いてくださるようになれば、担当者としてこれ以上の喜びはありません。



微生物の世界を観る

学習センター所長としての仕事と、自分の研究とを両立させることの難しさを痛感している。専門は微生物学を標榜しているが、具体的には、酵母やかびの細胞生物学、とくに核と細胞が分裂するときの超微構造の動態を電子顕微鏡で解析することをやってきた。電子顕微鏡ではダイナミックな構造変化を一時的に停止した像を観察するわけで、時間的に連続した変化を捉えるには限界がある。ここ数年、光学顕微鏡の改良と画像処理技術を駆使したバイオイメージング技術の進歩はめざましく、特に特定の蛋白質に蛍光を発する蛋白を組み込んで、その細胞内動態を観察する方法などが、ポストゲノム時代の細胞生物学の強力な武器

器として使われている。顕微鏡下に培養した細胞内の構造変化、特に細胞内オルガネラの動きをデジタルビデオに収録して時間軸の上で解析することを試みている。

もう一つの関心は、我々の生活と微生物が深く関わっていることを多くの人に知ってもらうことである。センターの理科実験室が整備され、生物実験の面接授業に加えて微生物実験ゼミと称するものを開いた。池の水の中に生息する藻類や原生動物の観察、鼻腔から採取したブドウ球菌の抗生物質感受性検査、家の中に飛散する空中真菌や水虫の原因となる白癬菌の分離同定、そして、ビール発酵の実験など、微生物学の簡単な実習体験を通じて、自然や日常の暮ら

愛知学習センター所長 田中 健治

しのなかでの微生物について楽しく理解を深めてもらいたいと願っている。



世界最強のゼミ

忙しくなると勉強する暇が無い。暇な時には、勉強する気になれない。どちらかの状況で人生を過ごしてきた。アメリカで同時多発テロが発生した9月11日以降は、前者の勉強する暇の無い状況である。マスコミからの問い合わせは、絶える事が無い。知識は出てゆけばかりで、入っては来ない。こういう際に役に立つのは日頃の蓄積である。しかし、これもまた乏しい。唯一の頼りは、1999年に制作し2000年から放送を開始した『国際政治』の放送教材である。第9回でアフガニスタンの戦い、パキスタン憂鬱」というタイトルで、この地域の情勢を扱った。また印刷教材でも、40ページ近くを使って論じた。厚めの教材でも一

番厚い章である。国際政治の教科書は多々あるが、この問題を解説したのは、放送大学の教材だけだろう。とさりげなく、しかもミエミエに、自分の本の宣伝をしまうのは、最近民放の番組に出過ぎてしまっているからだろうか。

実は、私にはもう一つ秘密兵器がある。と言うのはアフガニスタンや中央アジアの情勢に詳しい学生が高橋ゼミには3名もいるからだ。ゼミでは教えないで教えられてばかりである。マスコミのインタビューの前には、しばしばゼミのメンバーに電話をして事実を確認している。この問題に関しては世界最強のゼミだろう。情報が必要な際に往々にして重要なのは、

社会と経済 助教授 高橋 和夫

情報そのものよりも、情報を持っている人を知っている事である。この点では本当に恵まれている。ゼミの皆さん、ありがとう。



学習センターの整備

伝統の「赤煉瓦」からモダンな「ハートフルビル」へ

岡山学習センター所長 内田 仙二

岡山学習センターは待望の新学舎の完成により、「築九十余年の伝統ある赤煉瓦の学舎」として多くの人々に親しまれてきた旧学舎から、新築の「モダンでハートフルなビルの学舎」に移転し、平成13年10月より活動を開始しました。

新しい建物は、岡山市のシンボルでもある「半田山」の山裾に広がる岡山大学津島キャンパスの西門近くに位置し、キャンパスを縦貫する東西道路沿いの櫻けやきなどの年輪を重ねた木々に囲まれた静かな場所にあります。岡山大学との合築として平成12年6月に着工し13年8月に竣工したこの建物は、鉄骨鉄筋コンクリート6階建て茶色系のモダンなビルですが、その建築設計コンセプトの「ハートフルビル」の名にふさわしく景観や省エネに配慮しつつ高齢者などを意識した人と環境にやさしい造りとなっております。わが岡山学習センターはこのビルの5階と6階1階～4階は岡山大学文化科学系総合研究棟に位置しており、実効面積は旧学舎の約2.5倍に相当する840m²で、5階に視聴学習図書室・実習室・学生控室・教員室・所長室・事務室などが、また6階には講義室・実験室・保健室・会議室などがそれぞれ機能的に配置されております。

当学習センターは、「閑谷学校」の例にみられるように時代に先駆けて庶民教育をすすめた地域の歴史と伝統に支えられ、またキャンパスに溢れる学究的な雰囲気の後押しされながら着実に前進を続けており、所属学生も開設時(平成7年)の3.3倍強にあたる1,371人に達しております。この度の学舎新築によってセンターの学習機能及び学習環境が格段に充実し改善されたことから、地域における生涯学習の拠点として一層の発展を期したいと念じております。



徳大工学部内へ移って新たな出発

徳島学習センター所長 河野 清



徳島市は、1585年に阿波へ入国した蜂須賀家政により吉野川河口のデルタ地帯に開かれた城下町から発展しました。築城を祝って町の人達に無礼講で踊りを許したのが有名な阿波踊りの始まりといわれています。眉山登山口にある阿波おどり会館では、いつでも踊りが楽しめます。阿波藍の栽培が藩の経済発展の基となり、京阪神との交流は藩政時代から盛んでした。昭和60年6月の大鳴門橋と平成10年4月の明石海峡大橋の開通で淡路島を介して本州と陸続きとなり、四国の東の玄関口の市として人や物の交流が活発に行われています。

徳島学習センターは、平成10年4月に佐賀、鹿児島、和歌山とともに全国では最後に設置され、その年の10月から学生の受け入れを行い、現在、703名の学生が学んでいます。本年9月までの3年半、市郊外の田園地帯である川内町(株)徳島健康科学総合センター2階3室(240m²)を借りて運営していましたが、公共交通機関のバスがなく通学に不便であり、自由に使える専用の教室がないなど問題点がありました。

今秋、10月から市の中心から近い徳島大学常三島キャンパスの工学部内に移転し便利になりました。ほぼ2倍の広さ(476m²)となり、大小の講義室、所長室、客員教授室兼学習相談室、学生控室など、ようやくセンターらしい施設が整い、新たな出発をしたところです。百数十名が所属する学友会では、英会話、パソコン、俳句、カウンセリングなどのサークル活動を行っており、移転後、教室の使用予約が次々と入り、学習活動が一層活発になっています。

教務のお知らせ

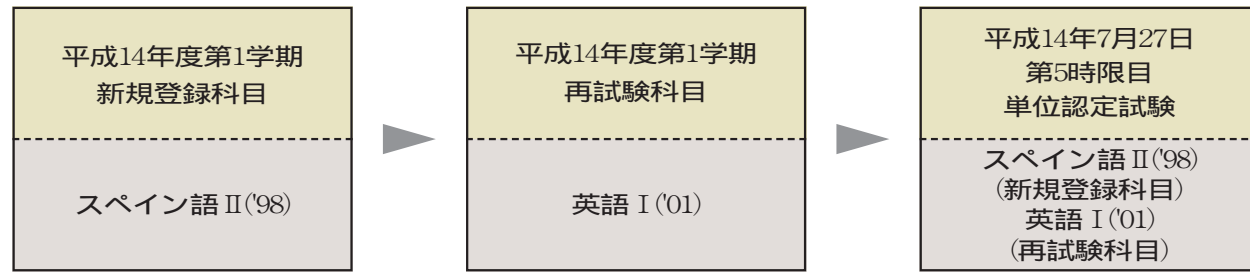
1. 単位認定試験制度の変更に関する科目登録について

平成14年度第1学期から、単位認定試験制度が現在の1時限内に新規登録科目及び再試験科目のうち2科目を受験する制度から、新規登録科目又は再試験科目のどちらか1科目を受験する制度に変更されます。この変更に関する科目登録は次の点に十分留意して行ってください。

- (1) 平成14年度第1学期以降は、同一単位認定試験日・時限の科目は1科目のみ登録することになります。2科目以上申請した場合も、1科目しか登録されません。
- (2) 平成14年度第1学期は、新規登録科目の試験時間が、(例)のように、再試験科目の試験時間と重ならないように注意してください。

(例)

平成14年度第1学期の新規登録科目と平成14年度第1学期に再試験として受験する科目が平成14年7月27日の第5時限目に重なった場合



* どちらか1科目を選択して受験することとなります。

2. 授業料の改定について

平成14年度第1学期から、授業料が現在の1単位あたり4,500円から5,000円に改定になります。放送授業は、全て2単位ですから、1科目あたりの授業料は10,000円となります。

なお、平成12年度第1学期以前から引き続き在学している方の授業料は現行どおりですが、平成12年度第2学期以降に入学した方(再入学を含む)は、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3. ホームページからのインターネット出願について

平成14年度第1学期入学の出願から、ホームページからのインターネット出願がご利用いただけます。出願期間は以下のとおりです。

学生の種類	出願期間
学部 全科履修生	平成14年1月4日(金)午前9時～1月31日(木)午後6時
学部 選科履修生 学部 科目履修生 大学院 修士科目生	平成14年1月4日(金)午前9時～2月15日(金)午後6時

詳細は、出願期間中に放送大学ホームページ(<http://www.u-air.ac.jp/hp/>)をご覧ください。
在学生の科目登録には利用できません。

4. 東京多摩学習センターの開設について

放送大学50番目の学習センターとして、「東京多摩学習センター」(東京都小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平キャンパス内))を建設中です。

センターは、来年3月からご利用いただける予定ですが、平成14年度第1学期以降、同センターへの所属を希望される方は、平成14年2月9日までに所属学習センターの変更手続きを行ってください。

なお、変更手続きについては、「学生生活の菜」をご覧ください。

5. 平成14年度第2学期からのランチ試験場について

(1) 国立ランチ試験場

平成14年度第2学期から、会場の都合により、国立ランチ試験場は閉鎖する予定です。近隣に開設します「東京多摩学習センター」をご利用くださいますようお願いいたします。

(2) 町田ランチ試験場

平成14年度第2学期から、会場の都合により、町田ランチ試験場は東京都町田市内の別の施設に移転する予定です。

なお、詳細については後日お知らせします。

6. 介護教員講習会における放送大学の対応科目について

厚生労働省では、介護教育の内容の充実及び介護教員の資質の向上を図るため、平成15年4月1日以降に新たに介護教員になる方及び既に介護教員である方を対象とした介護教員講習会の実施を決定しました。

講習会は、「基礎分野」、「専門基礎分野」及び「専門分野」で構成されており、時間数は合計300時間以上となっております。

放送大学では、この中で「基礎分野」及び「専門基礎分野」の科目をすべて履修することができます。

なお、この講習会の適用は、平成15年4月からですが、それ以前でも放送大学においてこれらの科目を履修することができます。

この講習会に関する平成14年度における該当科目は以下のとおりです。

放送大学における介護教員講座の対応科目(平成14年度)

区分	講習会の授業内容	放送大学における対応科目
基礎分野 (介護教員として必要な基礎知識を学ぶ)	社会福祉学	社会福祉入門(00)
		社会福祉の国際比較(02)
		障害者福祉(01)
		高齢者福祉(99)
		地域福祉(99)
	生活学	生活学入門 日常生活の探求
	人間関係論	フロンティア人間科学(98)
	心理学	心理学初歩(02)
	哲学	現代人のための哲学(00)
		現代の哲学(01)
倫理学	倫理思想の源流(01)	
法学	法学入門(00)	
専門基礎分野 (教育の原理を系統的に学ぶ)	教育学	教育社会学(98)
	教育方法	教育の方法(99)
	教育心理	教育心理学通論(01)
	教育評価	教育評価(99)

平成14年度第1学期学生募集

放送大学教養学部・大学院文化科学研究科では平成14年度第1学期の学生募集を以下のとおり行います。

- 平成13年10月15日(月).....平成14年度第1学期修士科目生
学生募集要項配布開始
- 平成13年11月15日(木).....平成14年度第1学期教養学部学生
募集要項配布開始
- 平成13年12月15日(土).....出願受付
～平成14年2月15日(金) (教養学部学生・修士科目生)
- 2月上旬～3月上旬.....合否通知等
- 2月中旬～3月15日(金).....学費の納入
- 2月中旬～3月下旬.....入学許可通知・印刷教材等の配送
- 4月1日(月).....平成14年度第1学期授業開始

募集要項(出願書類を含む)は、各地の学習センター、大学本部などにおいて直接配布しているほか、郵送(ハガキ)や放送大学のホームページからも請求できますので、ご利用ください。

募集要項・送料は無料です。

放送大学では、平成14年4月1日から始まる新学期の学生募集を行います。

放送大学に関心があるご友人、ご親戚他お知り合いの方にも、この機会にぜひ本学についてご紹介くださり、入学をお薦めいただくようお願い申し上げます。

また、平成14年3月末をもって学籍が切れる学生の方で、平成14年度第1学期以降も引き続き学習を希望される場合は、改めて入学手続きが必要となりますが、入学金が割引になります。

放送大学大学院では、自分の学習・研究したい科目を選択して、1科目から履修することができる「修士科目生」の募集を行います。

入学試験は実施しません。満18歳以上であればどなたもご入学できます。

入学の時期は年2回、4月と10月です。在学期間は1学期間(6か月間)です。

修士科目生として修得した単位は、本学大学院に「修士全科目」として入学した場合、修得に必要な単位として通算される場合があります。

修士の学位の取得を目指す「修士全科目」の学生募集(年1回)は既に終了しています。

出願締切日は平成14年2月15日(金)必着です。

募集要項請求専用フリーダイヤル 0120-864-600

平成13年度放送大学卒業式について

平成13年度卒業式の日程が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

日時 平成14年3月17日(日)
午前10時30分から

場所 東京ベイN.K.ホール
(千葉県浦安市舞浜1-8)

大学通信編集委員会

(平成13年度)

委員長	教授	阿部 齊
副委員長	同	森谷正規
委員	同	長岡亮介
〃	助教授	臼井永男
〃	同	星 薫
〃	同	島内裕子
〃	同	杉森哲也

(編集事務担当)

教務部修学指導課)

編集後記

「IT革命」という標語がまだ流行っているようだ。しかし、高度情報社会とは氾濫する情報の大量消費社会でもある。

伝達される情報は記憶される。限られた容量の記憶装置を効率良く利用する基本方式の一つにFIFO(first-in first-out)がある。古く入った情報から順番に消されていくというものである。

「人の噂も75日」 噂をFIFO方式の記憶にたとえれば、次々に新しい事件が発生するために、社会のメモリに留まる期間は75日程度でしかない、ということになるか。しかし、いま、日本で、そして世界で、続いている大事件を「驚愕的なニュース」として「消費」していつてはいけないうだろう。

(長岡亮介)



放送大学学園

<http://www.u-air.ac.jp/hp>
ISSN 1343-3369

R100